

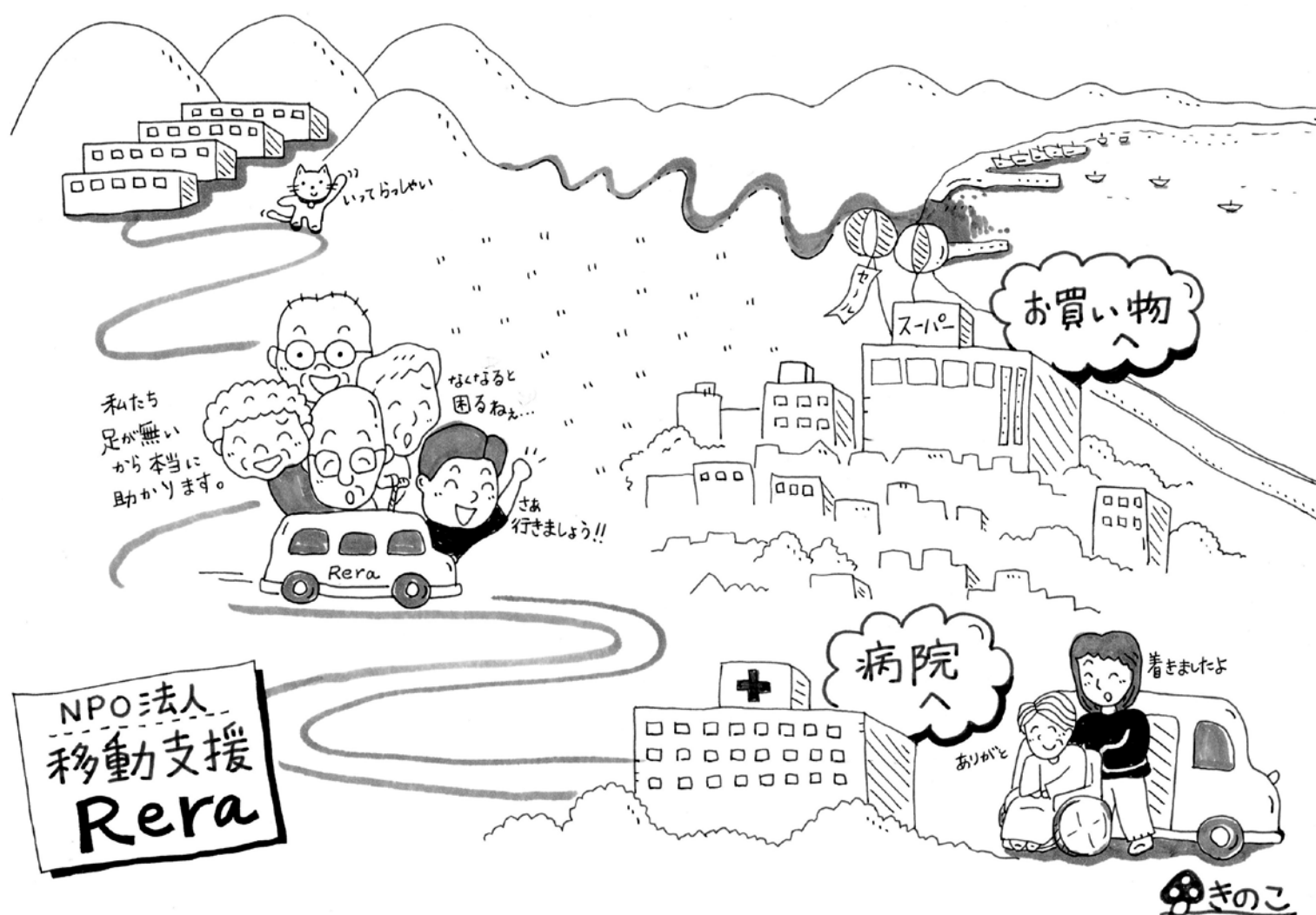
みやぎのボランティア 市民活動情報誌

2015
vol.221

毎月1日発行

10月号

杜の伝言板 ゆるる 月刊



- 移動困難者の今と支援活動のこれから NPO法人移動支援Rera
- 「市民参加」と「協働」で、豊かな地域社会をつくる
～NPO法人グループゆうが20年間大切にしてきたこと～
- 復興支援NPOの雇用の現状から ～日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班の取組み～

みやぎNPOプラザからのお知らせ

新入居団体紹介 NPO法人エイブル・アート・ジャパン

杜の伝言板ゆるる
ホームページ



移動困難者の今と

支援活動のこれから



NPO法人移動支援Rera

移動支援Rera(以下、レラ)は、石巻地域において高齢者や障がい者などの移動支援を行っている団体です。震災後、身体的・経済的理由による移動困難者を対象に送迎ボランティアを行い、二〇一三年二月にNPO法人化しました。毎月延べ一八〇〇人ほどを送迎し、送迎目的の九割は通院です。

●●石巻の移動困難者の今●●

石巻では今年の四月頃から復興公営住宅への入居がどんどん進んできました。狭くて壁も薄く、居住環境のよくなかった仮設住宅から復興住宅に移ることで、被災者の住居の問題も改善することが期待されていました。しかし、復興住宅への転居が必ずしもよい結果とならず、問題を引き起こしているケースも出てきています。

仮設住宅ではお茶っこ飲みのような集まりがありました。が、復興住宅ではそれがなくなり、また外からの見守りの目が入りにくくなりました。被災者にとっては待ち望んでいたはずの復興住宅だったのに、行く場所がなく、家に引きこもるようになってかえって体調を悪化させた人もいます。新しい

住宅に入ったあとの孤立はすでに始まっていて、レラの利用者からは「仮設に帰りたい」、「仮設のお茶っこに送迎してほしい」、「病院以外に出かけるところがない」との声も聞かれます。

また、復興住宅はできたものの、交通インフラの整備は進んでいません。駐車場や周辺の道路がまだできていないところもありますし、バスや乗合タクシーについても復興住宅の入居開始後、経路の変更や運行エリアの拡大はされていませんから、交通に不便がある状態です。

●●データから見えてきた移動困難者●●

移動困難者の実態を把握するため、レラとNPO法人地星社は共同でレラの利用者を対象にアンケート調査を実施し、今年三月に報告書にまとめました。調査の結果、一人暮らしもしくは二人暮らしで七十歳以上の高齢者が約半数を占めることがわかりました。その多くが年金暮らしの低所得世帯です。震災後に住まいが変わった方は約半数で、震災の影響もあるものの、もともとあった移動困難の問題が震災後に顕在化してきた

ことがデータから窺えました。また、移動困難者というと、車いすの方や寝たきりの人などがイメージしやすいかもしれませんが、しかし、利用の実態としては介護認定を受けていない人が四割、軽度である要支援の人が三割弱でした。介護認定を受けるほどではなくとも、歩行が不安定な方にとつては、長い距離を移動するのは大変なことです。そうした方が外出自体を控えて家にこもるようになると、より歩行の能力が衰えてしまっただけで歩ける人に外出の機会をつくることは、単に移動を助



◀移動困難者の調査報告書

けるということだけでなく、健康の維持と孤立の防止をサポートすることにつながります。

移動困難者の問題は震災に伴う一次的なものではなく、特殊なものでもありません。高齢化が進むとともに移動困難者は増加し、適切な対応ができなければ問題は深刻化するでしょう。

●●●●● 震災五年目からの 組織基盤強化

レラがこれからも移動困難者の問題に対応していくには、活動を継続させていくための組織基盤強化も重要です。震災後にできた多くの団体と同じように、レラはこれまで目の前の困っている人を助けることに力を割き、組織として活動基盤を整えることはどうしても後回しにしがちでしたが、震災から五年目となった今、本格的に取り組むことになりました。

集中復興期間を終える来年度以降、被災者支援活動への助成金・補助金、寄付は一気に減っていくことが懸念されています。レラの活動もこれまでと同じ規模、同じ形態で続けられる保障はありません。そうした中、研修の一環として、活動の中で何を大切にしてい

くのか、団体の行動指針づくりが進められています。レラの代表の村島弘子さんは、「行動指針ができることより、指針をつくるのにスタッフみんなで考える過程が大事」と話しています。

また、研修で移動支援にかかわる制度を学ぶ中、これまでは代表がやりくりしていた活動資金のことについても、スタッフそれぞれが考えるきっかけになったといいます。さらには、移動の問題の背景にある貧困や家族、障害、社会制度などのさまざまな要素にも目が向くなど、スタッフの意識も変わってきました。

●●●●● 移動困難者の問題を 知ってもらいたい

レラがこうした取り組みを行う一方、移動困難者の問題について市民は何ができるか。村島さんは団体外部からの支援に対して、こう話します。「以前は活動資金の支援をお願いしたかったが、今はそこではないと考えている。移動困難者のことを知ってもらい、問題意識を共有することで何かにつながる」

移動困難者の背後にある課題に対応するには、行政や他団体など

さまざまな主体との連携が必要で、す。そのためにも移動困難者の問題について、お互いの理解が進むようにしなくてはいいけません。また、地域の人たちにこの問題を知ってもらうことも重要です。お互いの精神で、身近な誰かをそれぞれできる人ができる範囲で面倒を見ることが、移動困難者やその背景にある社会的孤立の問題の解決につながります。そのため、レラでは行政や他団体に呼びかけてワークショップを行ったり、地域住民を対象とした福祉送迎講習



▶移動困難者の問題についてのワークショップの様子

◀福祉送迎講習会の様子



会を開催するなど、問題意識の共有に向けた取り組みも始めました。震災からもうすぐ五年となるのを前に、団体のあり方や地域との連携をどうしていくか、新たな模索が続いています。

文責…認定NPO法人地星社
代表 布田剛

NPO法人移動支援Rera

〒986-0855 石巻市大街道東4-2-10
クレンビル1号館2階
●TEL/FAX 0225-98-5667
●URL <http://www.npo-rera.org>

「市民参加」と「協働」で、豊かな地域社会をつくる

～NPO法人グループゆうが20年間大切にしてきたこと～

認定NPO法人グループゆう

「グループ

ゆうのミッ
ションはどの
程度達成され
たのでしょうか。

か。市民のエンパワメント(※)、
協働は進んだのでしょうか。NPO
法人グループゆう代表理事の中
村祥子さんは、八月二十九日に開
催された「NPO法人グループゆ
う設立20周年のつどい」でこれ
までの歩みを振り返りました。

グループゆうは、地域で食と環
境の活動を行っていた十八人の女
性たちの配食サービスからスター
トしました。目前に迫っていた高
齢化社会が到来しても、安心して
自宅で生活を続けられるように
“あったらいいな”と思う福祉サ
ービスを生み出してきたのです。

●●●
スタート時の思い

「二十年前は、女性が自発的に
社会参加できない風潮があり、そ
の風潮と地域社会で活動したいと
いう強い思いの狭間で悩んでいま
した。その転機は、同じ思いを持っ
た当初のメンバーとともに、当時
仙台市が開催した「女性問題自由
学級」に参加し、女性の自己決定
と、社会参加のプロセスを学んだ

代表理事
中村祥子さん



設立20周年記念のつどい
パネルディスカッション「協働になくてはならないもの」



ことです。『自分を縛っているの
は自分自身』であることに気づき、
誰もが自分の得意なことを活かし、
社会に参画できる開かれた場をつ
くり、市民力を育んでいく大切さ
を痛感したのです。今もグループ
ゆうの根っこにある思いです。」と
中村さんは話します。

この根っこの思いを大切に、現
在では配食サービスのほか、高齢
者や障がい児・者のためのホーム
ヘルプサービスやデイサービス、
障がい者の就労支援、障がい児の
放課後デイサービス、親子通園施
設(児童発達支援事業)、介護予防
のためのサロン運営など、ライフ
ステージに沿った多様な事業を展
開し、法人の理念であるノーマラ
イゼーション社会の実現に向けて

活動を進めています。



▲放課後等デイサービス ピーターパン長命ヶ丘



▲キッチンポポ、ほっとスペースポポ

●●●●●
グループゆうが大切にする
生活者の視点と市民参加

利用者から「こんなことをして
ほしい」と要望が出されることは、

実はあまりありません。以前、弁当の配達先で、ご飯が固くて食べられず、もう一度おかゆに炊きなしておいてと聞いたことがありました。その様子を団体に持ち帰り、「なんとかしたい」「しかし、現状でお粥を提供できるだろうか」などと話し合った結果、皆の合意のもとに、ひと手間をかけてお粥を提供することになりました。相手に寄り添い共感することが多様なサービスにつながった、ひとつの事例です。

中村さんは、「グループゆうでは、市民が困っていることに気づく生活者の視点を忘れないようにしています。そして、相手の状況に共感しながらも、サポートできるかどうかを考え、自分たちが納得したうえで行動に移さないと、継続してサービスを提供するのは難しいです。」と話します。

その思いは市民参加にもつながります。グループゆうは、市民である私たちに對して、スタッフとして、あるいはボランティアとして活動に携われる、開かれた場の提供に力を入れてきました。現在もシニア世代から大学生、高校生や中学生などの多くのボランティアの協力を得ながら活動をしています。

▲高校生の夏ボラ体験



しかし、グループゆうのボランティアメニューは、利用者や地域の人たちと触れ合うことを第一としたもので、ボランティアを「労働力」とは捉えていません。

それは、グループゆうに関わる全ての人が、地域の一員であることを意識し、社会の課題を感じ取り、共感し、自らその解決に踏み出すことができる市民力を培ってほしいと願っているからです。

●●● 協働で課題を解決 ●●●

当初、配食サービスは高齢者を対象に行っていました。地域の精神障がい者の自立を支援する機関から、弁当を配達してもらえないかという要望を受けたことがありました。これを見過ごすわけに

はいかないと配食を始めたところ、それをきっかけに配食の希望が増え、ニーズが高いことがわかったのです。この状況の詳細をまとめて仙台市にかけあつたところ、障がい者への配食は、ほどなく仙台市の障害者配食サービス事業として制度化されました。現在ではその制度のもと、多数の団体が配食サービスを行っています。



▲活動の原点である配食サービス

制度化されるということは、市民が利用しやすいサービスになるということ。それは、「だれもが、住み慣れた場所で安心して暮らし続けることのできる社会を、市民参加で創る。」というグループゆうのミッションとも深くかかわります。「必要をまずサービスに、そして制度に」をモットーに掲げ、公共に資する協働の推進に力を入れてきました。

●●● 今後の社会を見据えて ●●●

中村さんは「二〇年間、グループゆうが市民に開いてきた場で、ボランティアやスタッフの市民力が育ってきました。その力で行政との協働も推し進め、あつたらしいな」のサービスを一つずつ実現することができました。」と成果を振り返ります。

しかし一方で、「市民力」が十分に醸成されたかというと、まだまだだと考えています。このため、今後ともに支える人の輪を広げながら、NPOの神髄ともいえる「市民が自ら声をあげ、社会課題を解決すること」にこだわり続け、更に市民参加と協働を進めることを目標に掲げています。

(※)エンパワメント
＝勇気とも言い、人びとに夢や希望を与え、勇気づけ、人が本来持っているすばらしい、生きる力を湧き出させること。

認定NPO法人グループゆう

〒981-3213 仙台市泉区南中山2-2-3 南中山プラザ
●TEL: 022-376-7665
●URL: <http://members2.jcom.home.ne.jp/g.yuu/index.html>

復興支援NPOの雇用の現状から

～日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班の取組み～

報告：日本NPO学会理事・震災特別プロジェクト東北班事業総括 大久保 朝江

この四月より、被災地三県で震災後に設立されたNPOを対象に「活動実態と今後の展望」をテーマに、日本NPO学会震災特別プロジェクト東北班による現地ヒアリング調査が行われている。東北班の構成は、東北大学大学院経済学研究科西出研究室と認定NPO法人杜の伝言板ゆるるのメンバー等で構成され、調査研究責任者は西出優子准教授、事業総括はゆるるの代表理事の大久保朝江が担っている。

●●● 震災特別フォーラム ●●●

九月十二日、このプロジェクトの一環で、東北大学片平キャンパスのエクステンション教育研究棟を会場に「震災特別フォーラム」が開催された。フォーラムのテーマは「被災地NPOの雇用」。東京より独立行政法人労働政策研究・研修機構の研究員である小野晶子さんを招き、機構が昨年の七月に全国を対象として行った「NPO法人の活動と働き方に関する調査」を基に「東日本大震災の復興支援活動は雇用の場としてのきつかけになるか」について講演した。

小野さんの調査目的の一つに、東日本大震災での活動や震災がN

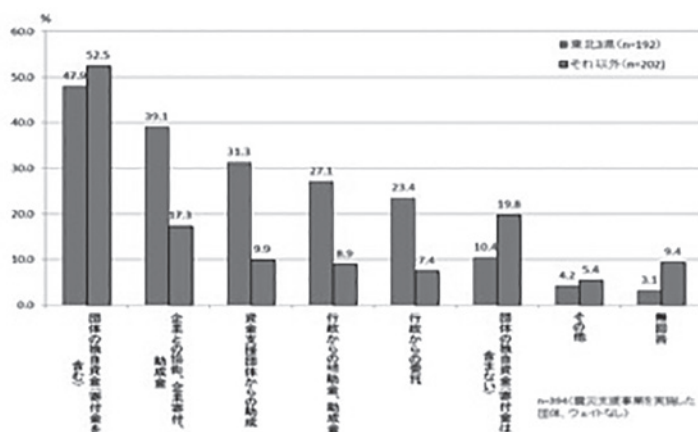


PO法人の活動や雇用に与えた影響を掴むことがあった。この調査の結果によると、東北三県(岩手・宮城・福島)のNPOに関わっている人の関わり方は、正規・非正規職員一四・八%に対し、「無償その他ボランティア」が五六・四%と、多くのボランティアにより支えられていることが分かる。この後は、小野さんのお話と調査報告書である労働政策研究・研修機構の『NPO法人の活動と働き方に関する調査(団体調査・個人調査)―東日本大震災復興支援活動も視野に入れて―』(発行：労働政策研究・研修機構)を基に、被災地の雇用に関する概要を簡単にまとめて紹介する。

●●● 資金と雇用 ●●●

東北三県で、被災地で復興支援事業を実施しているのは三三・二%。支援事業の内容は、地域コミュニティ支援が多く、次いで被災地でのイベントや交流イベント・ツアーと続く。

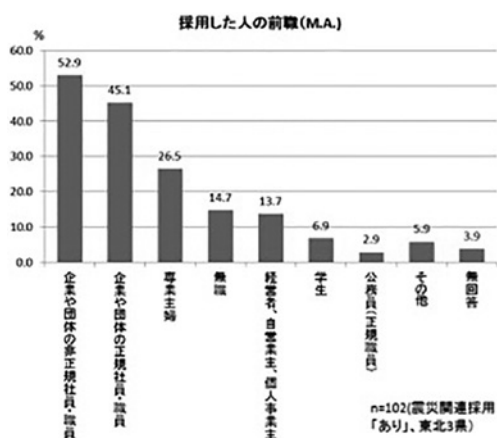
そして事業の年間支出額は、被災三県の平均値千六百万円、中央値五百万円に対し、他県で支援活動をしている団体の値は、平均値三百七万円、中央値五十万円。比べると被災地で活動するNPOの支出額が大きい。その資金の源は、



▲支援事業の資金体制

図の通り、寄附や助成金、行政からの補助金、委託など、被災地で活動するNPOに多くの資金が集まっている。

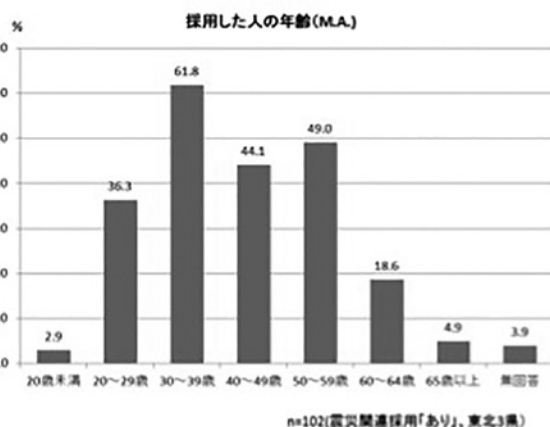
震災後の後は、人件費に使える助成金や補助金が増えたことで、事業に関わるスタッフを雇用できたことが復興支援の活動継続に繋がっている。事実、東北三県で支援事業をしているNPOで「雇用がある」と答えているのは五六・五%、雇用の人数が、平均値で三人だ。二〇一三年度の東北三県のデータでは、二一・三%が職員を採用し、平均採用人数は〇・九一人、そのうち七七・五%の団体で被災者を採用している。採用者の前職と年齢の関係は、図の通り。



そして、不足している人材は？との問いには、東北三県のNPOは、
①専門の知識や経験が豊富な人
②資金集めが得意な人
③会計・経理に明るい人
④団体運営全般ができる人、を挙げている。

低い賃金

二〇一四年度の調査では、週五日の正規職員の年間給与額がNPO全体では平均二百六十万円余り、東北三県の震災関連事業を担う正規職員では二百二十一万円強となっている。これを月にすると約十八万四千円というところだ。しかし、ここは宮城県内でNP



O支援活動をする筆者の個人的見解だが、宮城県の被災地に限定すると、被災地で活動する地元民からは平均月給十五〜十六万円という声が多いことから、東北三県の中でも地域によって差が大きいことが想定される。

その現状を踏まえ、小野さんは、「被災地の人口減少は問題ですが、その地の若者にとっては、地元でも給料が高い人ほど被災地から出て、力量を認められてさらに高い給料を得た方が若者の復興感が高まるという現実があります。その人の将来を見ると、都会への流出は自然の成り行きかと感じます」と問題提起。

では、被災地はどのように展開していくのか。小野さんは、「震災から五年が過ぎると助成金や補助金が打ち切られるところも多くあるので、これから復興事業から真の地域活性化事業への転換が必須になります。それには自治組織とNPOの共存が重要な力ギとなります。』と、今後の復興支援事業を行うNPOにメッセージを送り、報告を終えた。

これから震災特別プロジェクト東北班では、年内を目標に、被災三県で震災後に設立されたNPO

法人や社団法人およそ七十団体の訪問ヒアリング調査を実施する。

今回の大震災で、救援活動や復興支援活動をしたNPOが、これまでどのような人と資金を得て、どのように貢献してきたのか。そしてこれから先、地域のニーズに応えていくには何が必要か、その支援策は何が有効かなど、今後想定される巨大地震が発生した場合に、今回の調査及び研究が活きるようにしなければならぬ。それがこの時に、この地で活動したNPOの一つの使命ではないかと思っている。

調査を基に、東北班のメンバーそれぞれが独自のテーマで分析し、三月五日・六日に開催される日本NPO学会年次大会で発表する予定である。また後日には報告書も発行する予定だ。

図の出典：『NPO法人の活動と働き方に関する調査(団体調査・個人調査)』東日本大震災復興支援活動も視野に入れて』(発行：労働政策研究・研修機構)

NPO法人 エイブル・アート・ジャパン

みやぎNPOプラザ

このページは、みやぎNPOプラザからのお知らせです。

NPO法人エイブル・アート・ジャパン(以下、AAJ)が、みやぎNPOプラザの事務ブースに入居しました。

課題をアートで変えていく

エイブルアートとは、『可能性の芸術』という言葉です。障がいのある人、生きにくさを抱える人たちが芸術を通して自分たちを表現できること、そしてその素晴らしさが広く理解され、誰もが自分らしく生きていける社会になるようにとの想いが込められています。AAJの東北での活動は、連携している一般財団法人たんぼの家などと一緒に、東日本震災をきっかけに本格的に始まりました。特に被害の大きかった山元町では、町内の福祉施設と共に地域に活気を取り戻そうとコミュニティカフェや特産品のいちごをモチーフとした手拭いなどの商品づくりを行いました。

AAJの活動は、ただアートの技術やノウハウを伝え、商品を作るのではありません。地域や福祉施設、そこに集う当事者がどんなことを求めているのかを一緒に考え、より良い表現や発信の方法を

探します。福祉施設の現場では、せっかく障がいのある人が作品を作り表現することができても、なかなか上手く発信できない場合があります。また商品を販売するための販路開拓や価格設定など、福祉とは全く違う分野の知識が求められることもあります。

障がいのある人のアートに惹かれ、芸術や福祉を学んできたスタッフの武田和恵さんは、「それぞれの施設や当事者の方々にあわせて、デザインなどで付加価値を高めて商品として勝負できるようにコーディネートしたり、障害のある人の表現活動を発信することを



障がいのある人のアートを発信するため、二〇一五年一月に開催した「はじめてましてSOUP展」

通して人々の価値観を変えるきっかけを作りたいです」と話します。実際に作品を見た県内の企業からは、自社の商品や情報誌のデザインに使用したいという依頼がありました。活動を通じ、たくさんの方の可能性が広がっています。

新しい動きをつくる

今年十月下旬には、様々な出会いから地域や社会に新しい動きが生まれることを目指して石巻市内のレストランや店舗を使って県内の障がいのあるアーティストの作品展示や市民が参加できるワークショップなどのイベントも始まります。

プラザに事務所を移したことに伴って、「今後さらに他団体とネットワークを築いて活動したい」と思っています。普段から、いろいろな団体が集まっているので、交流を広げたいです」と武田さん。偶然にも、現在プラザには同じく障がい者支援やアートを活動の軸にする団体も入居しています。交流の輪が、より一層の表現活動支援につながることを期待されます。

プラザのNPO向け相談・講座

お申込みはコチラから

法人設立・運営相談

毎週水曜日 13:00~17:00

会計・税務相談

11/20(金) 13:00~17:00

基礎から学ぶ!
NPO法人設立講座

11/25(水) 14:00~16:00

みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5
(指定管理者:認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる)

☎ 022-256-0505

☎ 022-256-0533

✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

●みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。

みやぎNPO情報ネット

<http://www.miyagi-npo.gr.jp/>



助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

みんなpresents まち・むすび助成金 第2期

- 助成対象：主に仙台市内・宮城県内の複数の団体・組織（NPO・企業・町内会・サークル・行政等）が営利を目的とせず、地域や社会の課題解決のために協力して行うもの
- 対象団体：活動の分野、法人格の有無不問（他要件は下記URL参照）
- 助成金額：1事業につき10万円
- 応募締切：10月30日（金）当日消印有効
- 連絡先：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
TEL：022-264-1281
（祝日を除く月～金9:00～18:00）
URL：<http://www.minmin.org/>

NPO基盤強化資金助成 「認定NPO法人取得資金」の助成

- 助成対象：「認定NPO法人」の取得に関する費用であれば使途は問いません
※原則として2017年3月末までに所轄庁（都道府県・政令指定都市）に、「認定」の申請を行うこと
- 対象団体：社会福祉分野で活動し、認定NPO法人の取得を計画しているNPO法人
※2015年4月以降に認定NPO法人の取得申請をすでに提出している団体（認定済の団体も含む）も対象
- 助成金額：1団体30万円
- 応募締切：10月30日（金）17:00
- 連絡先：公益財団法人損保ジャパン日本興亜福祉財団
TEL：03-3349-9570
URL：<http://www.sjnkfwf.org/>

平成27年度「元気シニア応援団体に対する助成活動」

- 助成対象：高齢者を対象にした健康管理・増進、自立支援、生きがいづくり等の活動
- 対象団体：ボランティアグループ、NPO法人、民間非営利の団体等（詳細は下記URL参照）
- 助成金額：1団体上限15万円（助成金最大500万円）
- 応募締切：10月31日（土）当日消印有効
- 連絡先：生命保険協会「元気シニア応援活動」事務局
TEL：03-3286-2643
URL：<http://www.seiho.or.jp/>

平成27年度 みやぎ社会貢献大賞・みやぎ小さな活動大賞

- 助成対象：宮城県内で社会福祉、公共の利益、環境、教育、文化、国際理解等、社会貢献活動をしてきた市民活動団体の取組み
※10/6応募説明会を開催。詳細は下記URL参照
- 対象団体：A:宮城県内において、市民活動のために、日々積極的に活動している団体（設立後、概ね5年以上活動している団体）
B:小さな活動大賞は、より細やかな団体を大賞とする
- 助成金額：A:みやぎ社会貢献大賞100万円（原則1団体）
A:みやぎ小さな活動大賞20万円（原則1団体）
A-B共通：ノミネート賞2万円（第1次審査通過団体）
- 応募締切：11月7日（土）当日消印有効
- 連絡先：一般財団法人愛知揆一福祉振興会
TEL：022-262-0666
URL：<http://www.aichi-fukushi.org/>

平成28年度年賀寄附金 -社会貢献事業への配分金-

- 助成対象：①一般枠：公益活動を行う（※）団体の福祉、人材育成、普及啓発、イベント（活動・一般プログラム/活動・チャレンジプログラム）、公益活動を行う団体の施設改修、機器購入、車両購入
②特別枠：東日本大震災の被災者救助・予防（復興）
※詳細は下記URL参照
- 対象団体：①社会福祉法人、更生保護法人、一般社団法人、一般財団法人、公益社団法人、公益財団法人及びNPO法人
②営利を目的としない法人
- 助成金額：①活動・一般プログラム上限500万円
活動・チャレンジプログラム上限50万円
施設改修、機器購入、車両購入上限500万円
②上限500万円
- 応募締切：11月13日（金）当日消印有効
- 連絡先：日本郵便株式会社 総務部
環境・社会貢献室年賀寄附金事務局
URL：<https://www.post.japanpost.jp/kifu/>
※年賀寄附金ホームページお問合せ用フォーマットからお問合せください

2015年度 東北ろうきん復興支援助成金

- 助成対象：東日本大震災からの復興、被災者支援活動
- 対象団体：東北6県に主たる事務所を有する、NPO団体やボランティア団体等の非営利活動を行う団体
- 助成金額：1団体あたり30万円
- 応募締切：11月20日（金）
- 連絡先：東北労働金庫営業推進部 復興支援助成金制度事務局
TEL：022-723-1118
URL：<https://www.tohoku-rokin.or.jp>

平成28年度 福祉助成金

- 助成対象：①ジャンプアップ助成金：障がい者の給料増額のモデルとなる本格的なしくみを取り入れた事業
②ステップアップ助成金：障がい者の給料増額に効果的な事業や設備
③障がい者福祉助成金：会議・講演会・研修・出版・啓発・調査・研究・スポーツ・文化の事業
- 対象団体：【①・②共通】就労継続支援A型事業所、就労継続支援B型事業所、福祉工場、地域活動支援センター、生活介護事業所
①平均工賃1人あたり既に月額2万円以上支給していること
②平成25年度全国平均工賃額14,437円以上を支給していること
※他要件は下記URL参照
- 助成金額：①定額500万円（最大15件程度）
②1団体あたり上限200万円
③1件あたり最大100万円
- 応募締切：11月30日（月）当日消印有効
- 連絡先：公益財団法人ヤマト福祉財団 助成金事務局
TEL：03-3248-0691
URL：<http://www.yamato-fukushi.jp/>

10/24

難聴者等トータルコミュニケーション教室

難聴者・中途失聴者を対象に、より良いコミュニケーションを楽しむための、さまざまな手段をご紹介します。聞こえの活用や読話、手話やジェスチャーなど楽しく一緒に学びましょう！※すべてに要約筆記(文字通訳)付き

- 日 時：10月24日(土) 13:00～15:00
- 場 所：塩竈市番館5階 会議室2・3(塩竈市本町1-1)
- 内 容：トータルコミュニケーション教室
- 対 象：難聴者・中途失聴者はもちろん、ご家族、関係者の方々など、どなたでも参加可能
- 申込方法：事前申込み不要、お気軽にお越しください
- 主 催：宮城県聴覚障害者情報センター(みみサボみやぎ)
- 連絡先：TEL：022-393-5501 FAX：022-393-5502
E-mail：info@mimisuppo-miyagi.org
URL：http://www.mimisuppo-miyagi.org/

10/25

せんだい地球フェスタ2015

仙台国際センターを会場に、市民の国際交流、国際協力、多文化共生等の国際活動を紹介し、さまざまな出会いと学びの場を提供するものです。世界のさまざまな文化・暮らしが体験できる1日です。

- 日 時：10月25日(日) 10:00～16:00 ※雨天時開催
- 場 所：仙台国際センター展示棟(仙台市青葉区青葉山)
- 内 容：・地球屋台村：世界の味が盛りだくさん！
・ワールドバザール(物品販売)：世界の民族雑貨や小物、食品など、ここでしか出会えない商品をお求めください
・体験・ワークショップなど
- 主 催：せんだい地球フェスタ実行委員会
- 連絡先：公益財団法人仙台観光国際協会 国際化事業部内
TEL：022-268-6260
E-mail：senfesinfo@gmail.com

10/31

傾聴入門講座「傾聴ってなあに？」

聴いてもらいたい・聴いてもらったら元気になった…そんな経験はありませんか？対等の立場で向き合い、相手の思いや気持ちに心を寄せて、耳を傾けて話を聴く。そんな聞き方「傾聴」について、この機会に学んでみませんか？

- 日 時：10月31日(土) 13:30～15:30
- 場 所：仙台福祉プラザ 11階第1研修室
- 対 象：関心のある方ならどなたでも
- 参加費：無料

- 申込方法：下記連絡先にTELで問い合わせのうえ、申込み
- 主 催：NPO法人仙台傾聴の会
- 連絡先：〒981-1232 名取市大手町5-6-1
名取市市民活動支援センター内
FAX：022-343-9705
携帯：090-6253-5640
E-mail：moriyama-e@tulip.sannet.ne.jp
URL：http://sendaieicho.web.fc2.com/

11/4

NPO夜学 第2回「働きながらNPO」

「社会に貢献したい!」、「市民活動に関わってみたい!」、「どんな市民活動があるか分からない!」…そんな想いをお持ちのあなた!今年度2回目のNPO夜学のテーマは、「働きながらNPO」。会社員とNPOの二足のわらじを履くゲストから、働きながらでもNPOを続ける意義や両立のコツなどをお聞きます。

- 日 時：11月4日(水) 19:00～21:00
- 場 所：みやぎNPOプラザ 第1会議室
- ゲストスピーカー：山口泰子氏(NPO法人パソコン要約筆記文字の都仙台 事務局長)
- 対 象：社会人・学生で、市民活動に関心のある方など
- 定 員：15名程度(申込先着順)
- 参加費：1,000円(税込、お茶菓子付き)
- 申込方法：参加申込書にご記入の上、下記連絡先にFAX、郵送、E-mailにてご送付下さい
申込書はこちら(<http://goo.gl/qxk3C4>)からダウンロード可能、TELでも申込みできます
- 主 催：宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画実施：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

11/8

まなびの庭ワークショップ 「秋のアート遊び・いまむかし」

昔懐かしの創作&紙アプリ体験で世代を越えて遊ぼう。

- 日 時：11月8日(日) 11:00～15:00
- 場 所：ArtGalleryそあとの庭(仙台市青葉区郷六笹ノ上5-4)
- 講 師：佐藤晴香氏
- 参加費：大人2,500円、子ども1,500円
※ランチプレート付
- 申込方法：下記連絡先にFAX・E-mailで申込み
※お子様のみでのご参加は受けかねます
- 主 催：NPO法人東北の造形作家を支援する会
- 連絡先：仙台市青葉区郷六笹ノ上5-4
TEL：022-398-8844 FAX：022-398-8845
E-mail：head@soat.jp
URL：http://www.soat.jp

情報をお待ちしてます

- 申込方法：問合せ先を明記の上、**掲載は無料です!**
FAX、e-mail、郵送にてお寄せ下さい。
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せは事務局まで。
※申込みいただいた情報は「みやぎNPOネット」にも提供いたします。

認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡3-11-6 コーポラス島田B6
TEL：022-791-9323 FAX：022-791-9327
e-mail：npo@yururu.com

寄付のお願い

みやぎのボランティア・市民活動の情報を発信している月刊情報誌「月刊杜の伝言板ゆるる」。1997年の創刊以来、皆様のご寄付と応援に支えられて、毎月欠かさず発行を続けてきました。これからも情報誌を通して、みやぎの市民活動を発信し、ボランティアや市民活動に取り組みやすい環境をつくっていきます。活動へのご支援よろしく願いいたします。

「認定NPO法人」である当法人へのご寄付(賛助会員の会費含む)は、税制上の優遇措置(寄付控除)の対象となります
当法人を応援して下さる方のご寄付は、こちらから受け付けております。

【お振込み先】
郵便振込口座 02250-0-43800
加入者名 特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
※会員申込については、P14をご参照ください

て日常とは違う一日を体験し、笑顔と元気になってもらうことを目的にしています。

- 日 時：10月18日(日) 10:00～
- 場 所：すていじ仙台(仙台市泉区高森7-1-4)
- 講 師：音楽クラス：星 律子氏
創作アートクラス：佐々木 裕子氏
ダンスクラス：千葉 瑠依子氏
合唱クラス：工藤 欣三郎氏(合唱指揮者)
- 対 象：ハンディを持つ子どもたちとその保護者、家族
(ミュージズの夢生徒含む)
- 定 員：親子ペア30組(事前申込)
- 参 加 費：親子1組4,000円(予定)
- 申込方法：下記連絡先までお問合せください
- 主 催：NPO法人ミュージズの夢
- 連 絡 先：TEL/FAX：022-267-9540
E-mail：info@musenoyume.jp
URL：http://musenoyume.jp/

10/21 「宵の口」から始まる 「話す場」話さナイトカフェ

今回のテーマは、「あなたが住みたい！！アイディア・イメージを持ち寄ろう」。自分が住みたい空間を思い浮かべてください。どんなアイディアでも大歓迎！お待ちしております。

- 日 時：10月21日(水)18:30～21:00
- 場 所：大崎まちづくり支援センター「きらっと」
(大崎市古川米倉字屋敷42-1)
- 定 員：20名(先着順)
- 参 加 費：500円(飲み物・軽食付)
- 申込方法：軽食の関係上、要予約
- 主 催：NPO法人おおさき地域創造研究会
- 連 絡 先：担当：館澤・堀
〒989-6134 大崎市古川米倉字屋敷42-1
TEL：0229-25-9956
E-mail：mail@otsk-kiratto.org
URL：http://otsk-kiratto.org/

10/21 中長期計画を策定したいNPOのための 3年後の未来を創りだすNPO向け セミナー&ワークショップ2015

これからのNPOは変化に対応した対応力・予測力・実行力を備え、持続可能な組織運営力を上げていかなければなりません。マネジメント・ガバナンスを学び、より信頼されるNPOへと成長ステップを踏み出しましょう。

- 日時・場所：各日13:00～17:00(開場12:30)
【亘理会場】10月21日(水)
場所：亘理町農村環境改善センター(吉田公民館)
第4研修室(亘理町吉田字大塚185)
【仙台会場】10月22日(木)
場所：仙台市戦災復興記念館 第2会議室
(仙台市青葉区大町2-12-1)
- 講 師：今田 克司氏(認定NPO法人日本NPOセンター常務理事)
- 内 容：①NPO底力UPセミナー
②NPO活動力UPワークショップ
※本受講者にはフォローアップも実施予定
詳細は、下記URL参照
- 対 象：主に理事や事務局長など組織の経営・運営に携わる方
- 定 員：15団体(事前申込要)

※組織へ確実に還元するため1団体から2名でお越しください

- 参 加 費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申込み
FAX・E-mailでお申込みの際には、件名に「3年後の未来を創りだすセミナーWS申込」と明記し、参加希望日・会場、団体名、参加者名、連絡先をお知らせ下さい
- 主 催：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- 連 絡 先：TEL：022-264-1281 FAX：022-264-1209
E-mail：minmin@minmin.org
URL：http://www.minmin.org/

10/21 つるがや元気会健康講座 ワインセミナー「ポリフェノールで健康を」 2525(ニコニコ)赤ワインで毎日健康！

ワインに含まれるポリフェノールは、動脈硬化抑制、抗ガン作用などの効果が期待できると言われています。是非ご来場いただき、ワインについていっしょに勉強しませんか？

- 日 時：10月21日(水) 14:00～15:30
- 場 所：鶴ヶ谷市民センター(サンドラッグ鶴ヶ谷店二階)
- 講 師：白幡 博美氏(株式会社やまやワインアドバイザー)
- 定 員：60名(先着順)
- 参 加 費：無料
- 注 意：当日はワインの試飲がありますので、くれぐれもお車でのご来場はお断りいたします
- 申込方法：下記連絡先にTELで問合せ
- 主 催：つるがや元気会
- 連 絡 先：ひまわり手芸店(担当：芦澤)
TEL：022-251-5663

10/24 ココロン・カフェ☆スペシャル 「一緒に考えよう！～障害による差別 解消のために私ができること～」

仙台市では「共生社会」の実現のために、障害を理由とする差別の解消を推進するための条例の制定について検討しています。このイベントでは、条例の検討状況についての講演や差別解消を考えるパネルディスカッション、グループワークを通して誰もが暮らしやすいまちづくりについて考えます。

- 日 時：10月24日(土)13:30～17:00
- 場 所：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア
- 内 容：①13:30～条例の検討状況についての講演、障害による差別解消について考えるパネルディスカッション
②15:40～参加者によるグループワーク
- 参 加 費：無料
- 申込方法：①のみ参加の方は申込不要
②グループワークに参加希望の方は、TEL、FAX(氏名、住所、連絡先、託児または手話通訳等の必要な配慮の有無を記入)で下記へ申込み
- 申込締切：10月19日(月)
※託児、手話通訳を希望の方は、10月14日(水)までに申込み
- 主 催：仙台市、仙台市障害者施策推進協議会
- 連 絡 先：仙台市健康福祉局健康福祉部 障害企画課企画係
TEL：022-214-8163 FAX：022-223-3573

※当日キャンセルの場合は、キャンセル料をいただきます

- 申込方法：下記連絡先にE-mail、TELで申込み
希望講座日、氏名、連絡先をおしらせください
※TELでのお申込みの場合は平日日中のみ受付
- 主 催：一般社団法人メディアデザイン
- 連絡先：TEL：090-3049-0613(担当：千葉)
E-mail：kouza@mediadesign.jp
URL：http://mediadesign.jp/

10/17 おしゃべりの杜 障がいを持っているみなさん、一緒に ピア・カウンセリングしてみませんか？

障がいのある人同士で行う、自分を肯定的に見られる“ほっ”とした場です。今回は、ピア・カウンセラー（司会リーダー）を東北各地からゲストとして呼びます。そんな場に、ぜひ参加してみませんか？自分のやりたいことや仲間も見つかるかも♪

- 日 時：10月17日(土) 13:00～16:00(受付12:30～)
- 場 所：グッドライフ内8階 コミュニティールーム
※受付は、たすけっと事務所(仙台市太白区長町1丁目6-3)にて行います
- ゲ ス ト：梅津洋治氏(CILほっとらいふ)
※CILたすけっとからは、高橋愛実氏が各会にてリーダーをします!!
- 定 員：3～5名程度
※初めて参加する方も大歓迎!!
※毎回、定員に達し次第締切
- 参 加 費：300円
- 申込方法：下記連絡先にTEL、FAX、E-mailで申込み
申込み時、氏名(ふりがな)、性別、年齢、所属団体、参加希望日、連絡先(住所、TEL・FAX・E-mail)、障害種別、補装具、以前にピアカウンセリングに参加した経験はあるか、などをお知らせください
- 主 催：CILたすけっと
- 連絡先：担当：高橋
〒982-0011 仙台市太白区長町1丁目6-1

TEL：022-248-6054 FAX：022-738-9501
E-mail：cil-tasuketto@k6.dion.ne.jp
URL：http://blog.canpan.info/tasuketto/

10/18 まちづくりネット お茶会

素敵な日本庭園を眺めながら、ゆっくりと秋のひとときを満喫しませんか。

- 日 時：10月18日(日) 12:00～15:00
- 場 所：高養様宅(岩沼市中央1-4-28 相馬屋家具店向かい)
- 参 加 費：お茶券500円(当日券600円)
※お茶券は猪股時計店で販売しています
- 主 催：岩沼歩いて暮らせるまちづくりネット
- 連絡先：TEL：0223-24-4090(事務局：及川)

10/18 2015年震災復興支援 ファミリー 和太鼓ワークショップ成果発表会

東日本大震災後、復興支援として和太鼓ワークショップと成果発表会を行っています。今年も、民族歌舞団ほうねん座から指導を受けたワークショップ参加者の和太鼓の響きをぜひお聞かせください。

- 日 時：10月18日(日)11:00～
- 場 所：「みやぎの・まつり」会場 榴岡公園 野外音楽堂
- 対 象：どなたでも観覧できます
- 参 加 費：無料
- 申込方法：申込不要、直接会場へお越しください
- 主 催：NPO法人せんだい杜の子ども劇場
- 連絡先：TEL/FAX：022-375-3548
URL：http://www.ab.auone-net.jp/~senmori8/

10/18 NPO法人ミューズの夢 オータムスクール

ハンディを持った子どもたちは、ハンディを理由に芸術に触れる機会が少ないのが現状です。そこでこのオータムスクールは、親子で芸術に触れてもらうのはもちろん、芸術を通し

縦 覧 中

●縦覧中の団体の申請書類はこちらから確認できます

■宮城県 <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kyosha/seturitu-zyuran.html>
■仙台市 http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

!! 仙台市における認証手続きの変更について

国家戦略特別区域法第24条の4の規定により、仙台市では特定非営利活動促進法の特例が適用され、仙台市が所管するNPO法人の認証申請(設立、定款変更、合併)における申請書類の縦覧期間が、2カ月から2週間に短縮される等、認証手続きが変更になりました。仙台市は、縦覧期間中の申請書類をホームページで公表します。右記のURLからご確認ください。 ■http://www.city.sendai.jp/d01/1202909_1433.html

NPO法人の設立を新しく申請した団体				宮城県等所轄分 8月11日～9月10日 仙台市所轄分 8月11日～9月10日
団体名	所在地	活動内容	受理日	
宮城県等 閑上水産業振興会	名取市	名取市閑上地区の漁業及び水産加工業の振興と地域の活性化に資する事業を行うもの	8/14	
かぎかつこPROJECT	石巻市	まちづくり、環境、教育、就労支援等の分野の企画を創造する事業を行うもの	8/19	
マスキー	色麻町	高齢者の介護サービス、障害者や生活保護者の福祉サービスの充実を図る事業を行うもの	8/27	
仙台雇用福祉事業団	太白区	住民のための街・公園の緑化・美化の事業資源の有効活用のためのリサイクルなどに関連する事業 高齢者、生活困窮者などに対する希望と能力に応じた就業機会の開拓及び提供 等	8/18	

NPO法人に認証された団体				宮城県等所轄分 8月11日～9月10日
団体名	所在地	活動内容	認証日	
宮城県等 浜わらす	気仙沼市	子どもたちに対する自然体験事業及び多世代交流促進事業等を行うもの	8/14	
こころの森	石巻市	育苗や植樹作業を通じて豊かな心を育てる事業等を行うもの	8/21	
リアスの森応援隊	気仙沼市	森林の整備が遅延した森林等を対象に森林の適正な整備、森林愛護や自然保護の啓発事業	8/21	
いのちのパン	多賀城市	社会の中で恵まれない環境にある方に対する生活支援及び交流活動	8/21	

新たに認定NPO法人を取得したNPO法人

- 仮認定/NPO法人ハーベスト ●仮認定/NPO法人あいの実

※認定(仮認定)NPO法人への寄付金は税額控除の対象になります。
認定NPO法人は税制面で優遇措置を受けることができます。

宮城県のNPO法人数

786団体

- 宮城県等所轄：379団体 ●仙台市所轄：407団体

※2015年9月10日現在

プ！DVキャンペーン2015」として、ドメスティック・バイオレンスの被害者への支援と防止啓発に集中して取り組みます。期間限定で通話料が無料の臨時回線を開設します(携帯電話・公衆電話等からも利用できます)。

- 日時：11月13日(金)～11月15日(日) 9:00～17:00
- 相談番号：0120-669-681【通話料無料】
- 内容：
 - ・殴る蹴るだけが暴力ではありません
 - ・威圧的な態度や言葉で繰り返し相手の心を傷つけることもDVです
 - ・パートナーや恋人との関係で「違和感」や「息苦しさ」を感じていたり、一緒にいるのがつらいと感じたら、ひとりで悩まず、まずはお電話ください
 - ・家族や友人など身近に悩んでいる人から相談を受けたり、身近に被害を受けている人がいると気づいた方もお電話ください
- 主催：仙台市
- 連絡先：仙台市男女共同参画課
TEL：022-214-6143

イベント

10/17 大切な人を亡くした方のわかちあいの会

わかちあいの会では、ご遺族同士が、喪失による悲しみ、怒り、辛いお気持ちなどを、静かに語り合います。日常生活で語れなかったことを、ご遺族同士わかちあっていただく安心な場所です。

- 日時・場所：
 - ◆仙台会場：10月17日(土)
各日14:00～16:30【毎月第3土曜日】
場所：あしなが育英会仙台レインボーハウス
(仙台市青葉区五橋2-1-15)
 - ◆気仙沼会場：10月24日(土)
各日13:00～15:30【偶数月第4土曜日】
場所：気仙沼市民健康管理センター「すこやか」
(気仙沼市東新城2-2-1)
 - ◆石巻会場：11月8日(日)
各日14:00～16:30【毎月第2日曜】
場所：カリタスジャパン石巻ベース
(石巻市末広町3-14)
- 対象：大切な方をなくされた方、どなたでもご参加可能
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailでお申込み下さい
※事前の申込みは必須ではありませんが準備の都合上、ご連絡いただくと助かります
- 主催：NPO法人仙台グリーフケア研究会
- 連絡先：TEL：070-5548-2186
E-mail：griefoffice@gmail.com
URL：http://www.sendai-griefcare.org/

10/17 10月～11月開催 オドリノタネ 親子で楽しむダンスワークショップ!参加者募集!

オドリって、もっと難しいと思っていた。みんなで楽しく動けば、それでいいんだ。みんなで楽しくオドリを作ろう!時には子どもが先生だ。ここに正確はない。大人も子どもと一緒にオドリノタネを見つけよう!

- 日時・場所：各日10:30～12:00 すべて土曜日
※開催場所は毎回異なります

【元気フィールド仙台】10/17
【せんだい演劇工房10-BOX】
10/24、10/31、11/7、11/21、11/28
【七北田公園体育館】11/14

- 内容：音楽にのって、適度な運動でからだリフレッシュ座ったままでも、腕が上がらなくても大丈夫!
- 対象：親子に限らず、年齢や性別障がいの有無不問
- 参加費：一般500円、障がい者300円、高校生以下・ガイドヘルパー無料
- 服装等：動きやすい格好で、飲み物、タオルなどをご持参ください
- 申込方法：下記連絡先にTEL・E-mailで申込み
- 主催：NPO法人アートワークショップすんぷちょ
- 連絡先：TEL：070-5017-5904
E-mail：info@sun-pucho.com
URL：http://www.sun-pucho.com/

10/17 NPOいちから塾

テレビや新聞、ネットでよく聞くNPO。実は私たちの身のまわりでもたくさんのNPOが活動しています。NPOの基本を楽しく学びながら、身近なNPOを具体的に紹介します。NPOに興味がある・参加してみたい方はもちろん、今さらに人に聞けないという方にもおすすめの講座です。

- 日時：10月17日(土) 10:30～12:00(受付10:00～)
- 場所：多賀城市市民活動サポートセンター(たがさぼ) 1階101会議室
- 講師：多賀城市市民活動サポートセンター スタッフ
- 内容：
 - ①NPOってなに?
 - ②どんな活動をしているの?
 - ③『たがさぼ』ってどんなところ?
- 定員：10名(先着順・要事前申込)
- 参加費：無料
- 申込方法：下記フォームからお申込み
また、FAX・TEL、当センター窓口でも受付
<https://ssl.form-mailer.jp/fms/5eb043c6329697>
- 主催：多賀城市(多賀城市市民活動サポートセンター)
- 企画・実施：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
- 連絡先：〒985-0873 多賀城市中央2-25-3
TEL：022-368-7745 FAX：022-309-3706
E-mail：tagajo@sapo-sen.jp
URL：http://www.tagasapo.org

10/17 クリエイターと楽しむ みんなのワークショップ

学べる、充実の3時間×選べる4講座!情報発信をめざす、あなたのための実践講座です。

- 日時：時間すべて13:30～16:30
①10月17日(土)②10月18日(日)
③10月24日(土)④10月25日(日)
- 場所：せんだいメディアテーク 7階 会議室b
- 内容：
 - ①文章講座：いつもの文章を<リライト>でバージョンアップしましょう
 - ②写真講座：デジタル一眼でモノを撮りましょう
 - ③POP講座：手描きでアピール!POPを作りましょう
 - ④電子書籍講座：今日から出版社!電子書籍を作りましょう
- 定員：各回20名(申込み先着順)
- 参加費：1講座2,000円(当日会場にてお支払いください)

る、民間学童保育アフタースクール・キッズベースにおいて、子どもたちにサッカーを教えてください方を募集しています。小学1年生～6年生の子どもたちがサッカーを教えられるのを楽しみにしています。サッカーを通して、子どもたちの成長を見守り、応援してください。

- 日 程：水曜日(月に3回)
- 期 間：長期
- 場 所：アフタースクール・キッズベースに隣接している
アクションサッカー場内(仙台市青葉区北根黒松2-10 クローバースピアワッセ2階)
- 内 容：小学生を対象としたサッカー教室
- 定 員：1名
- 謝 金：有、詳細はお問合せください
- 申込方法：下記連絡先にTEL、E-mailで問合せ
- 応募主体：NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会
- 連絡先：担当：平野
〒981-0901 仙台市青葉区北根黒松2-10
クローバースピアワッセ2階
TEL：022-346-0130 FAX：022-346-0156
E-mail：S-hirano@kidsbase.jp
URL：http://kidsbase.jp/

お 知 ら せ

台風18号大雨被害 緊急募金

台風18号にともなう豪雨の影響で、浸水や土砂災害など、北関東・東北地方にも大きな被害がでています。栃木、茨城、宮城での豪雨被害地域への救援・支援活動を行うNPO、ボランティア団体などを応援するための寄付をお寄せください。

- 振込先：金融機関：仙台銀行 中央通支店
口座番号：普通 4094036
口座名義：特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター 代表理事 大滝一
口座名義フリガナ：(トクヒ) センダイ・ミヤギ
エヌピーオーセンター
ダイヒョウリジ オオタキセイイチ
※お預かりをしたご寄付額と同額を当センターで上乗せし現地で活動する団体等へお渡しいたします(せんだい・みやぎNPOセンターからの寄付金上限：100万円)
なお、寄付先の団体は当センターで現地調査をしたうえで、決定します
- 注意事項：①お振込をいただく場合、振込者の名前の前に「水害 仙台太郎」のように必ず「スイガイ」の文字を付け加えてください
フリガナも「スイガイ センダイタロウ」とご記入ください

②ご寄付をいただいた方に領収書をお送りします
件名を「寄付についての連絡」とし、氏名、住所、TEL、E-mail、寄付額、振込(予定)日、メッセージをご記入の上、E-mailもしくはFAXでお知らせください

- 連絡先：NPO法人せんだい・みやぎNPOセンター
TEL：022-264-1281 FAX：022-264-1209
E-mail：minmin@minmin.org

イシノマキ・ファーム&イシノマキ・マルシェ 参加者募集

石巻市郊外で、「イシノマキ・ファーム」という農園をスタートしました。「仮設住宅に住んでいるけど、日中やりがいのあることをしたい」、「そろそろ仕事を探したいけど、仕事を始める前に働く準備をしたい」そんなあなたをお待ちしています!

- 活動日時：①イシノマキ・ファーム 木曜日を中心に実施
②イシノマキ・マルシェ ※石巻NOTEで随時設定
- 活動場所：①石巻市郊外の「イシノマキ・ファーム」
②石巻駅前「石巻NOTE」
(石巻市銚銭場8-23 日和ビル3階-A)
- 活動内容：①チームでの農作業、草取りや苗、種の植え付け、水やりなど
②作物を流通させるための作業や企画、商品の袋詰め、値札付け、販売業務など
- 対象：石巻市、東松島市、女川町など石巻圏域で仮設住宅や復興住宅に居住している、または圏域にお住まいの方
- 定 員：①石巻NOTEからの送迎5名
現地集合可能な方7名
②5名
- 活動謝金：詳細はスタッフまでお問合せください
- 申込方法：下記連絡先まで、TEL、E-mailで申込み
- 募集主体：NPO法人Switch
- 連絡先：ユースサポートカレッジ 石巻NOTE
(担当：高坂、今野)
TEL：0225-25-5374
E-mail：info@npo-switch.org
URL：http://www.ishinomaki-note.org/

電 話 相 談

3日間限定フリーコール 仙台市「女性への暴力相談電話」開設

仙台市とせんだい男女共同参画財団では、「女性に対する暴力をなくす運動」期間(毎年11/12～25)に合わせ、「ストッ

ありがとうございます!!

今月の新入会員・継続会員 (2015.9.16現在)敬称略

●正会員 50名

<仙台市> ●佐藤わか子 ●若生勲
<大崎市> ●NPO法人Synapse40
<山形市> ●NPO法人山形の公益活動を応援する会・アミル
<京都府> ●新川達郎

●賛助会員 96名

<仙台市> ●角田哲 ●NPO法人あかねグループ
<愛知県> ●澤井宣利

会 員 募 集

会員種類	年会費
正会員個人・NPO	10,000円
正会員法人	20,000円
賛助会員個人	ー□ 3,000円
賛助会員NPO	ー□ 5,000円
賛助会員企業・団体	ー□ 20,000円

※正会員以外は、総会での議決権がありません。

郵便振替口座

口座番号 02250-0-43800

加入者名 特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

会員申込の方は、通信欄に会員の種類をご記入ください。

information

9月15日までにゆるる編集部へ届いた情報です。
詳細は各情報の連絡先にお問い合わせください。

ボランティア情報

みやぎNPOフォーラム2015 当日運営ボランティア大募集!!

みやぎNPOフォーラムは、市民の皆さんにNPOの魅力を知ってもらうことを目的に、みやぎNPOプラザ全館を会場に開催する、年に1度のイベントです。フォーラム当日の運営をお手伝いして下さるボランティアを募集しています。ボランティアを通じて宮城のNPOの活動に触れてみませんか?

- 活動日時: 10月18日(日) 9:00~17:00
- 活動場所: みやぎNPOプラザ(仙台市宮城野区榴ヶ岡5)
- 活動内容: 会場設営・撤収作業
総合案内での来館者の誘導
榴岡公園でのピザ配り
※館内で開催されるイベントに参加してもらう時間も設けます!
- 対象: NPOや市民活動に興味のある方、ボランティアをしてみたい方
- 定員: 5名
- 申込方法: 下記連絡先にTEL・FAX・E-mailで申し込み
申込み時、氏名、年代、住所、TEL・E-mailをお知らせ下さい
- 応募主体: 宮城県(みやぎNPOプラザ)
- 企画・実施: 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先: みやぎNPOプラザ(連絡先はP8をご覧ください)

サロン活動ボランティア及び参加者募集

おひさまくらぶは、地域の方々とおしゃべりや歌・詩吟などで楽しく過ごす高齢者サロン「あがらあいん」を開いています。そこで一緒に活動するボランティア会員と参加者を募集しています。

- 活動内容: サロン食事づくり、お話相手

- 活動日時: 毎月第1日曜日11:00~14:00
(ボランティアは10:00~)
- 活動場所: おひさまくらぶ(泉区高森7-32-16)
- 参加費: 500円
食事作りをして下さる方には活動謝金有
- 応募主体: NPO法人おひさまくらぶ(担当: 近藤)
- 連絡先: 〒981-3203 仙台市泉区高森7-32-16
TEL: 022-342-6027 FAX: 022-342-6028
E-mail: ohisama@tmt.ne.jp
URL: http://takurou-ohisama.jimdo.com/

有給スタッフ募集

「おひさまの家」スタッフ(パート)募集

おひさまくらぶは「その人らしくいつまでも」住み慣れた地域で生活できるようご本人とご家族を支援する活動をしています。介護が必要になった高齢者等の暮らす住宅「おひさまの家」でスタッフを募集しています。

- 業務内容: 介護、食事作り
- 就業時間: 7:00~2時間位、16:30~3時間位、
その他時間帯相談(夜勤できる方歓迎)
- 就業場所: おひさまの家(仙台市青葉区赤坂2-30-1)
マイカー通勤可
- 給与: 時給800円~
- 資格: ヘルパー2級(60歳以上でも可)資格無の方も応相談
- 待遇: 交通費支給(当社規定)
- 応募主体: NPO法人おひさまくらぶ(担当: 近藤)
- 連絡先: 〒981-3203 仙台市泉区高森7-32-16
TEL: 022-342-6027 FAX: 022-342-6028
E-mail: ohisama@tmt.ne.jp
URL: http://takurou-ohisama.jimdo.com/

サッカーコーチ募集

NPO法人働くお母さんと子どもを支援する会が運営してい

平成27年度仙台市NPO法人
組織基盤安定化事業

「NPO法人運営力向上セミナー」

主催
認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる
仙台市

NPO法人になって間もなく、事務局機能がまだ整っていない仙台市内のNPO法人を対象に、「会計」「税務」「労務」「事務局運営」「認定NPO法人取得促進」など、組織運営力の向上を目的とした様々な講座と専門家対応の相談会を来年3月まで開催します。広く市民の信頼を得ながら、協働によるまちづくりの担い手としての力を発揮できるような組織づくりに取り組みましょう!

10-11月
開催の講座

10/23(金) 13:30~16:30

①NPO法人の会計基準理解講座

定員 20団体 参加費 1,000円(税込)

11/10(火) 14:00~16:00

②認定NPO法人制度を知る講座

定員 20団体 参加費 800円(税込)

11/26(木) 14:00~16:00

③NPO法人のための税金初級講座

定員 20団体 参加費 800円(税込)

10月開催の
個別相談会

会計税務個別相談会

無料

開催日時
①10/23(金) 17:00~18:00
②10/29(木) 18:30~20:30

定員:1団体
定員:2団体

共通事項

会場:仙台市市民活動サポートセンター

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

お問い合わせ先

認定特定非営利活動法人
杜の伝言板ゆるる

仙台市宮城野区榴岡3-11-6コーポラス島田B6
TEL:022-791-9323 FAX:022-791-9327

E-mail: npo@yururu.com
URL: http://www.yururu.com/



みんなで守ろう! 日本の希少生物種と自然環境

SAVE JAPAN プロジェクト 2015

ハマボウフウの種をまこう みやぎの海辺をめぐる体験バスツアー

希少植物「ハマボウフウ」の種をまいて、海岸のお花畑づくりに参加しませんか?
かつて海岸でよく見られた海浜植物のひとつ「ハマボウフウ」を守り育てよう!と活動を続ける
団体を訪ねます。どんな活動をしているのか、私たちにできることは?海辺の「今」を知り、
「未来」へ向けて種をまきましょう!

海岸めぐりMap



日 10月31日(土)
時 9:00~15:30



ここがポイント!

- セキ浜町・若林区荒浜・名取市関上の海岸をめぐるバスツアー
- 各海岸で活動する環境保全団体の案内で、現地見学
- 海岸で希少植物ハマボウフウの種まき体験

※小雨決行。荒天時は雨天スケジュールで開催。大荒れの場合は、11月7日(土)に延期

■集合場所: 仙台駅東口バスプール周辺

■参加費: 500円

(小学生以下でバス座席不要のお子様は無料)

■定員: 45名(先着順)

共
催

NPO法人名取ハマボウフウの会
認定NPO法人杜の伝言板ゆるる



協賛

協力

後援



SOMPOホールディングス



損保ジャパン日本興亜



セキ浜ハマボウフウの会、荒浜再生を願う会



仙台市、名取市

＜お申込み・お問合せ＞ 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる(連絡先は下部をご覧ください)

★詳細は「SAVE JAPANプロジェクト」
ホームページをご覧ください→<http://savejapan-pj.net/>

今日から、始める。市民活動!

みやぎNPOフォーラム2015

みやぎのNPOがさらに元気になり、NPOをもっと身近に感じられる社会を目指し、今年もみやぎ
NPOフォーラムを開催します。「NPOってどんなことをしているの?」という方から、長年NPO活動
に取り組んでいる方まで、誰でも気軽に参加できるプログラムがいっぱいあります。

日 時 10月18日(日)

10:00~16:30

会 場 みやぎNPOプラザ

メインプログラム

10:00~12:00 「チームワークを高める」ためのアイスブレイク講座

参加費
500円(税込)

[講師] 笹田 歩さん(NPO法人日本ファシリテーション協会 東北スクエア)
中西 百合さん(NPO法人日本ファシリテーション協会 東北スクエア)

13:00~15:00 パネルディスカッション「私たちがNPOである理由」

参加費
無 料

NPOはなぜNPOとして活動を行うのでしょうか。ただ事業を行うのであれば他の事業体でも構いません。NPOであるからには、そこにはただ事業を実施するにとどまらない、NPOであることの意味があるはず。「NPO」にこだわりを持って活動しているパネリストによるディープな議論から、NPOの原点、NPOの存在意義を探ります。

[パネリスト] 飯嶋茂さん(仮認定NPO法人麦の会代表理事)
小玉順子さん(NPO法人おおさき地域創造研究会事務局長)
中村祥子さん(認定NPO法人グループゆう代表理事)
[コーディネーター] 大久保朝江(みやぎNPOプラザ館長、認定NPO法人杜の伝言板ゆるる代表理事)

15:30~16:30 NPOと市民の大交流会

参加費 500円(税込) ※飲み物・軽食付き

10:00~15:00

みやぎのNPOひろば

県内20以上のNPOが、誰でも気軽に
楽しんで参加できるプログラムを準備
中!多種多様なNPOとの出会いがあな
たを待っています。

メインプログラムへの申込方法

直接みやぎNPOプラザへお問い合わせいた
だくか、下記HPより申込用紙をダウンロード
し、メール・FAXでみやぎNPOプラザまでお申
込ください。(連絡先はP8下部をご覧ください)
※参加対象、定員、申込用紙のダウンロードにつ
いては、下記URLからご確認ください

URL: http://www.miyagi-npo.gr.jp/plaza/jigyounpoforum_2015_top.html

【主 催】 宮城県(みやぎNPOプラザ)

【企画・実施】 認定NPO法人杜の伝言板ゆるる